

中国と世界

(4)

- アフリカの情勢と中ア関係
- 中国は決して覇を唱えない
- ソ米の力関係とその影響
- 各国共産党との関係
発展についての原則

«中国与世界»丛书(四)

*

北京日报社出版

外文印刷厂印刷

中国国际书店发行

(北京399信箱)

1983年第一版

编号(日)17733—040

0094

17—J—1630P

中国と世界

(4)

『北京周報』

対外関係シリーズ

中国と世界（4）

『北京周報』対外関係シリーズ

編集	周 国
装丁	程 穎
出版	北京周報社 中国北京百万莊路24号
発行	中国国際書店 中国北京第399号信箱

目次

趙総理のアフリカ歴訪……………	5
アフリカの情勢と中国・アフリカ関係……………	9
中国は決して覇を唱えない……………	31
覇権主義反対が世界平和擁護のカギ……………	39
経済的独立と政治的独立……………	47
世界経済における途上国の地位……………	55
途上国の食糧問題……………	71
ソミの力関係とその影響……………	87
波風たえぬ欧米関係……………	109
各国共産党との関係発展についての原則……………	129
邢書綱 李允華 劉英娜……………	
丁原洪……………	
李驥 郭慶仕……………	
陳立成 談世中……………	
邢安黃……………	
『人民日報』評論員……………	
『人民日報』評論員……………	

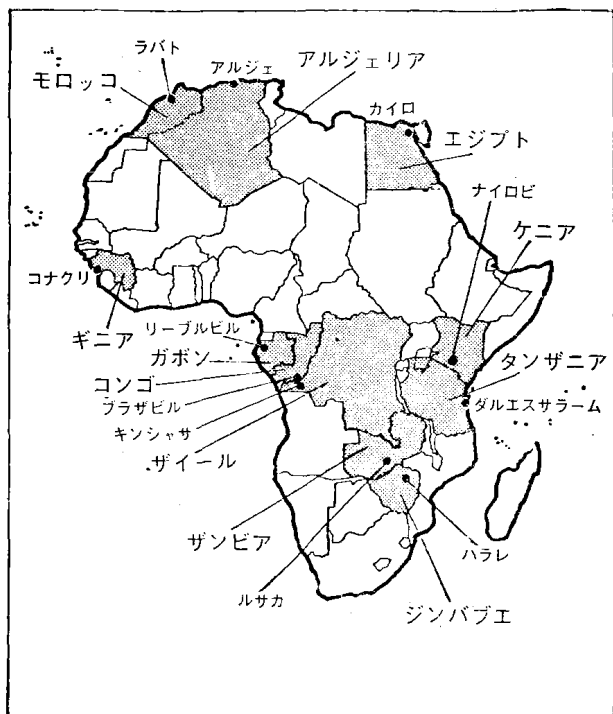
趙総理のアフリカ歴訪

趙紫陽総理は一九八二年十二月二十日から八三年一月十七日にかけて、エジプト、アルジェリア、モロッコ、ギニア、ガボン、ザイール、コンゴ、ザンビア、ジンバブエ、タンザニア、ケニアのアフリカ十一カ国を歴訪した。これは六〇年代の周恩来総理のアフリカ訪問について、中国の総理がおこなった二回目のアフリカ訪問であり、中国・アフリカ関係史における大きな事柄である。

アフリカ諸国との友好関係を発展させることは、中国の対外政策のなかでつねにきわめて重要な地位を占めている。中国共産党第十二回全国代表大会で覇権主義反対・世界平和擁護の独立自主の外交政策と社会主義的現代化建設の新局面開拓の綱領がうち出されたあとに、趙総理が最初の外遊地としてアフリカを訪問したことは、中国がアフリカ諸国その他第三世界諸国と

の団結・友好・協力関係の強化をひじょうに重要視していることを示している。

今日のアフリカは六〇年代初期のアフリカに比べて大きな変化がみられる。ナミビアと南アフリカ人民が植民地主義、人種主義とのたたかいをなおつづけているものの、アフリカ諸国は民族独立という偉大な歴史的任務をほぼなしとげた。現在、大
国強権政治反対、民族独立擁



護、民族經濟發展、新國際經濟秩序確立をめざす広範なアフリカ人民の闘争は、國際政治におけるはつらつたる力となっている。趙総理は、今回の訪問で、アフリカ諸国の指導者と当面の國際情勢、アフリカ・中東情勢およびともに関心をよせる國際問題、相互問題について話し合い、意見の一致あるいは意見の接近をみて、相互理解と友情を深めた。当面の國際情勢のもとで、アフリカ諸国との団結・協力をいっそう發展させることは、世界平和を擁護するうえで重要な意義をもっている。

中国とアフリカ諸国は、國際問題および独立擁護、經濟發展問題について、多くの共通した見解をもっている。趙総理は、今回の訪問で、新しい形態による經濟・技術協力のさまざまな可能性をさぐり、アフリカ諸国の指導者との話し合いで、アフリカ諸国との經濟・技術協力についての四原則をうち出した。アフリカ諸国、第三世界諸国との平等互惠をむねとする効果的な協力は、不合理な現行國際經濟秩序の改革、新國際經濟關係の確立に大いに役立つであろう。

趙総理は今回の訪問を通じて、多くの古い友人との友情を深めるとともに、多くの新しい友人を得て、相互理解と友情を増進し、団結・協力を強め、アフリカ人民から多くのものを学び、大きな成果をあげた。

趙総理の今回のアフリカ訪問は中国が第三世界のリーダーシップをねらったものだなどという者がいるが、それは根も葉もないデタラメな言い草である。中国は永遠に覇を唱えないし、リーダーシップも求めない。中国が求めているのは、世界のすべての国がその大小、強弱を問わず、対等に国際問題にとりくみ、平和かつ友好的につき合うことである。趙総理のアフリカ訪問の成功は、この平等の精神のたまものにはかならない。

アフリカの情勢と中国・アフリカ関係

趙紫陽総理はアフリカ訪問中、記者会見で、アフリカの情勢と中国・アフリカ関係について語るとともに、記者の質問に答えた。以下はその談話の要旨である。

一、一九八三年一月十六日、ケニア駐在中国

大使館で随行記者団に発表した談話の要旨

- ① 今回の訪問に対する評価、② アフリカの情勢、③ アフリカ諸国との関係のいっそうの発展

共通の言葉

今回の訪問は、実り豊かなもので、成功したといえる。これは、紋切り型の言葉ではなく、実情に即した要約である。わたしは、十一カ国の指導者と国際問題、相互問題について幅広く意見を交換したが、一連の問題で共通の言葉が使われた。それは、①帝国主義、植民地主義、人種主義に反対すること、②大国による小国支配に反対し、大国強権政治に反対すること、③世界平和を擁護すること、④第三世界の団結を強化すること、⑤不公平で不合理な現行国際経済秩序を改革すべきこと、⑥適切な措置による新国際経済秩序の確立、南南協力の推進に賛成すること、⑦相互関係を積極的に発展させること——の七つである。これらの共通の言葉は、今後の行動をさらに調整するための基本である。出国に先立って、党中央と國務院は訪問の目的を検討した。簡単に言えば、それは理解、友情、団結、協力、学習である。この目的は達成されたといえる。

アフリカの情勢

独立、団結、発展——これがアフリカですすめられている三つの大きな事柄である。アフリカの情勢を分析するにあたっては、この三つに注目しなければならない。

この二十余年間で、民族解放運動はアフリカ全域に広がった。アジア・アフリカ会議が開催された一九五五年に、アフリカの独立した主権国は数えるほどしかなかったが、いまは状況がいちじるしく変わり、五十数カ国にのぼっている。アフリカの民族解放運動はすでに重大な、決定的な勝利をおさめた。しかし、闘争はまだ続けられている。ナミビアと南アフリカ人民は、独立と自由をめざして、困難に満ちた闘争をすすめている。これはアフリカにおける帝国主義、植民地主義、人種主義の巣くつを完全にとりこわす闘いで、全アフリカ人民の支持を得ている。われわれはこれまでと同様、ひきつづきこの闘争に関心を寄せ、支持するであろう。すでに独立をかちとったアフリカの国ぐにはいま、その政治的独立を固めるために努力して

いる。独立を固めるには、なによりもまず團結を守らなければならない。アフリカが数百年にわたり帝國主義、植民地主義の支配下にあったことを考えれば、各国間に懸案がいくらかあっても、不思議ではない。それぞれの国の状況が異なり、独立後の内外政策もそれぞれ違っているが、これも理解できる。問題になるのは、いったん超大国が介入すると、事態が複雑になってしまうことである。アフリカ諸国は共同の努力によって、一九六三年にアフリカ統一機構を設立した。同機構は、二十年らい、ずっとアフリカ團結のシンボルとして存在してきた。しかし、近年、多少の紛争が生じたため、ソフリカ統一機構はかなり困難な立場に立たされた。これは、非常に關心を集める問題である。ところが、わたしと会った各国の指導者はみな、分裂に反対し、團結を守るという願望を示した。だから、安心できると思う。團結はアフリカにとって極めて重要である。それは民族獨立を獲得する武器であり、民族獨立を固める保証でもあるからである。わたしとしては、アフリカの兄弟が大局を重んじ、共通点を求めて相違点を保留し、辛抱強く協力をおこないさえすれば、ソフリカ統一機構のかかえている困難は克服でき

ら思っている。

政治的独立を固めるには、経済的独立も必要である。わたしの訪問した国々には、いずれも民族経済の発展に力を入れており、大きな成果をあげている。同行者のなかには、これまでアフリカを訪問したことのある同志が少なくない。かれらは今回の訪問で、アフリカの様相がいちじるしく変わり、民族経済が発展し、教育・文化事業が発展し、人民の生活も改善されたと言っている。では、困難はあるのだろうか。程度の差こそあれ、確かにある。これも当然のことである。発展し、前進しようとすれば、困難はつきものである。それに、一部の先進国が経済的危機を転嫁したため、アフリカ諸国の困難はいっそう大きくなった。困難を克服する方法はあるだろうか。確かにある。かれらはいま二つの面から手をつけている。一つは、少なからぬ国が経験を総括して、いっそう自国の実情に適するように政策を調整していることである。われわれの経験によれば、こうしたやり方は必ずよい成果をあげるにちがいない。もう一つは、アフリカ諸国が他の発展途上国とともに、現行国際経済秩序の改革を強く要求し、南南協

力をすすめていることである。われわれは、断固としてかれらを支持し、かれらと十分に協力するであろう。南南協力は極めて重要であり、大きな戦略的意義がある。その展望はひじょうに明るい。アフリカは、土地が広く、資源に恵まれ、アフリカ人民も力がある。アフリカ建設の前途は光明にみちたものになろう。

アフリカとの友好協力

アフリカでは、中国のイメージはひじょうに良い。この点が、ひじょうに印象深かった。かれらは、中国はわれわれと苦難をともしにしているので、頼りになる友人であり、「全天候型」の友人であり、真の友人である、と言っている。われわれ中国の同志も、アフリカは中国の親しい友人であることをしっかりと胸にきざんでおかなければならない。かれらは一貫してわれわれに共鳴し、われわれを支持している。国連におけるわが国の代表権が回復できたのは、アフリカの友人が大きな力を貸してくれたからだ。この二、三十年、複雑で変化の激しい国際情勢

のなかで、われわれを孤立させようとする者がいるが、アフリカの友人はつねにわれわれと
たく団結している。かれらに対するわれわれの友情と同様、われわれに対するかれらの友情も
試練に耐え抜いたものである。アフリカの友人がわれわれにこのように好意と信頼をよせてい
るのは、毛主席と周総理が立てた中国・アフリカ友好方針が正しいもので、アフリカの人びと
の心からの支持を得ていることを物語っている。アフリカ諸国は独立を求めており、われわれ
はかれらの独立を支持する。アフリカ諸国は民族経済の発展をはかっており、われわれはかれ
らと積極的に協力をおこなう。アフリカ諸国は団結を求めており、われわれはアフリカの団結
に役立つことをするよう努める。超大国はアフリカの問題に介入しようとしているが、われわ
れはアフリカ諸国の側に立ち、アフリカ人によるアフリカ問題の解決を堅持し、いかなる外部
からの干渉にも反対する。中国とアフリカの友情を大切にするには、われわれは終始変わるこ
となく中国・アフリカ友好方針を堅持するとともに、新しい条件のもとでこの方針をよりよく
実行しなければならない。